

平成30年度 入学試験問題 (第3回A)

# 国 語

## 注 意 事 項

1. 試験時間は50分間です。
2. 問題は1ページから9ページまであります。
3. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

そこに、先生がいるとします。その先生に、あなたは呼びかけます。その時、あなたはなんと呼びかけますか？ ① 「先生」とだけ呼びますか？ それとも、「あのオ、先生」と言いますか？ それとも「ねエ、先生」と言いますか？

ただ、「先生」とだけ呼びかけるのだったら、普通です。でも、その呼びかけに「あのオ」がついたら、その先生は、ちよつと遠くにいます。

後ろを向いているのかもしれない。なにか、自分の仕事をしているのかもしれない。「ちよつと声がかげにくいな」と思うから、まず、「あのオ」と言ってみるのです。

いつもは普通に話している先生に、その時は、ちよつと特別な(a)ソウダンがあるとします。あなたは、「ちよつと話しにくい」と思います。そういう時は、「あのオ、先生」と言いませんか？ 「遠くにいます」というのは、(b)ジツサイの距離ではなくて、そう感じてしまう心の距離です。(A)

先生が後ろを向いている。先生が自分の仕事に熱中している。先生に、ちよつと言いにくいことがある。そういう時には、先生を遠くに感じます。そういう心理的な距離があるから、「あのオ」という呼びかけがくつつくののです。

「ねエ」という呼びかけは、その反対です。

「ねエ、先生」と言う時、その先生は、とても近くにいます。この「近い」もまた、心理的な距離です。話しかけやすく好きな先生が前を歩いていたら、後ろを向いても、「ねエ！ 先生！」と言って、走って行ったりしませんか？ その先生は、心理的にとても近くにいますから、「ねエ！」と呼びかけられるのです。② とつつきにくい先生やいやな先生なら、目の前にいたって、「ねエ、先生」とは呼びかけないでしょう。

「ねエ」と呼びかけられる先生は、とても親近感のある先生で、だからこそ、「もつと近くにいてほしい」と思つて、「ねエ、先生」「ねエねエ、先生」と呼びかけてしまうのです。早い話、この「ねエ」という呼びかけは、甘えているのです。先生との間に「遠い」という距離を感じてしまう「あのオ」とは、反対です。

ところでしかし、先生というのは、敬語を使わなければいけないような存在です。だから、「ねエ、先生」とは呼びかけにくいような先生だつています。

べつにいやな先生ではないのだけれど、なんとなくとつつきにくい先生はいます。そういう先生に話しかけなくてはいけない時には、目の前にいて、こつちを向いている時でも、「あのオ」がまず口から出てしまいます。

なぜそうなのか？ それは、③ 「先生」というものが、そもそも「遠い存在」だからです。

「先生」という言葉は、それ自体が④ 敬語です。人の名前の下にくつつけて、その人への尊敬をあらわすような使い方をして、そういう場合は「敬称」

と言います。「称」は「呼び名」です。

「先生」と呼ばれるような人たちは、そもそも「尊敬されるべき立場の人」なのです。だから、「先生には敬語を使え」ということにもなります。「尊敬されるべき立場の人」というのは、「尊敬する側の人」からは、離れたところはなにいます。I、遠いのです。「自分たちとは、いい意味で違う」と思われなかったら、人は尊敬なんかされません。I、尊敬される人は、尊敬する側の人間たちとは違うところちがにいて、その「違う」と思われる分だけ、遠いのです。

教室にやって来る先生は、教室の中では、一人だけ大人です。教室の生徒たちから見れば、「一人だけ違う人」です。その先生が尊敬にあたいまするかどか別にして、「一人だけ違う人」であることは、はっきりしています。(C)

その先生がいい人で、その先生が好きになったら、「ねエ、先生」「ねエ、先生」と呼びかけます。「先生」と呼ばれて、自分とは違うところちがにすることがはつきりしているその人を、もつと身近に感じたいから、「もつと近くに来てほしい」という思いをこめて、「ねエ、先生」と呼ぶのです。

「ねエ、先生」という呼びかけが、先生に対して甘えていることだけは確かです。でも、だからといって、それでまちがいだというわけではありません。「敬語の使いかたを知らない」というものでもありません。(c)ギャクに、「敬語」というものの意味を知っているからこそ、「ねエ、先生」という呼びかけになってしまふのです。

なぜかという理由はかんたんでしょう。「先生」という言葉自体が、「尊敬の意味をふくむ敬語」で、「先生」というものが、そもそも i に、るものだからです。ほつとけば「遠いもの」になる——それがいやだから、「ねエ」と言って、ii に呼びよせようとしているのです。

「ねエ」は「iii」で、「先生」は「iv」です。この正反対のふたつがいっしょになっているのですから、「ねエ、先生」という呼びかけは、⑤矛盾したものです。「矛盾しているからまちがっている」と言いたい人はいっぱいいるかもしれませんが、これを「まちがいだ」と言う必要はありません。なぜかと言えば、⑥「ねエ、先生」という矛盾した呼びかけを、どうして生徒がするかを考えればわかります。

それを言う生徒は、「先生は v にいる人だけど、でも、もつと vi に来てくれるんでしょう？」と行って、そのことを確かめたがついてるのです。つまり、「ねエ、先生」と言う生徒は、「先生」というものが遠くとほにいて、ものだとこのことを知っているのです。「先生は尊敬の対象だ」ということを知っていて、「でも、そばに来てほしい」と思っているだけなのです。(D)

これは当然、「(d)ユルセル矛盾」で、「矛盾しているかもしれないけどかまわない」というものでしょう。これが「いけない」ということになったら、学校は(e)サイアクにつまらないところになってしまいます。

(橋本治「ちゃんと話すための敬語の本」より)

※出題の都合上、一部表記を改めた箇所かしょがあります。

問1 線(a)～(e)のカタカナを漢字で書きなさい。

問2 Iには共通の接続語が入ります。次のア～エから適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア つまり    イ さらに    ウ ところが    エ すると

問3 線①『先生』とだけ呼びますか？ それとも、『あのオ、先生』と言いますか？ それとも『ねエ、先生』と言いますか？』とありますが、このように呼びかけ方が異なるのは何によるものですか。本文中から六字で抜き出しなさい。

問4 線②「とつつきにくい」・⑤「矛盾」の意味をア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

② ア 個性が強い    イ 近づきにくい    ウ だらしない    エ 親しみやすい

⑤ ア 第三者が利益を横取りする    イ 苦勞して勉強をし成功する    ウ 周囲を敵に囲まれる    エ つじつまが合わない

問5 線③『先生』というものが、そもそも『遠い存在』だからです』とありますが、そう言える理由を本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問6 線④「敬語」について、次の(1)～(5)の傍線部の敬語表現として正しいものを、ア～ウから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 先生が来る。

ア 参る    イ おいでになる    ウ うかがう

(2) 先生が言った。

ア おっしゃった    イ 申した    ウ お言いました

(3) 私が先生にプレゼントをあげる。

ア くださる    イ たまわる    ウ 差し上げる

(4) 校長先生が絵を見ている。

ア ご覧になっている    イ 拝見している    ウ 見えます

(5) 今から私はごはんを食べる。

ア 召しあがる    イ いただく    ウ お食べになる

問7 

i
---

 ～ 

vi
----

 には、「近く」もしくは「遠く」のどちらかが入ります。「近く」が入る箇所にはA、「遠く」が入る箇所にはBと答えなさい。

問8 線⑥「『ねエ、先生』という矛盾した呼びかけを、どうして生徒がするのか」とありますが、その理由を本文中から四十字で抜き出ささい。

問9 本文中には次の文章が抜けています。この文章が当てはまる箇所を本文中の(A)～(D)の中から一つ選び、記号で答えなさい。  
だから、先生に対しては、いろいろな感情が生まれるのです。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

父の葬式の後、遺品である真つ赤なドラムは給前家へ引き取られた。母へなのか、志音へなのか、それはわからない。

ドラムセットは(a)半ば物置と化している四畳半の和室に置かれた。その部屋に籠もることが多くなったのは、①行方一高の入学試験を受けると決めた頃。バチを手にとってシンバルを叩いたのは、願書の提出締切の前日だった。バスドラムのペダルに足をかけて踏み込むと、一際低い音が響いた。A、と沈み込むような音だった。

父と東京で会ってから、学校が辛くなった。楽しくないとかつまらないとかじゃなくて、「辛い」と思うようになった。本当にどうしてだかわからないのだけれど、瑠璃ちゃんと一緒にいるのさえ、苦しくなった。「もやもや」とした感情がしょっちゅう湧いてきて、胸が苦しくなることが増えた。もやもやは毎日のように志音の中に溜まって行って、このままだと自分そのものが「もやもや」になってしまいうんじやないかと思えた。学校が本当に嫌になって、嫌いになって、きつと瑠璃ちゃんまで嫌いになってしまう。幼稚園からずっとこんな奴と友達でいてくれた子を嫌う、薄情な人間になってしまう。

高校は県立に行ったらどうだという母の言葉に迷わず頷いたのも、きつとそのせい。

受験が近づくにつれ、バスドラムの低い音にスネアドラムの(b)軽やかな音が加わるようになった。シンバルの甲高い音が混ざるようになった。瑠璃ちゃんを泣かせてしまった日、ドラムセットの全ての音が混ざり合った。

手と足がバラバラに動いてくれなくて、(c)不格好なリズムだった。ぎこちなくて、なかなか前に進まない。まるで自分の人生のようだった。そう思ったとき、ふと鼻の奥が痛くなった。頭を空っぽにして手足だけを動かしていると、自分の心がよく見える。自分がこんな人生に憤っている、よくわかる。

手足がバラバラに動くことに慣れてくると、少しだけそれっぽいリズムになる。ドラムっぽい音になる。

けれど、中学三年生の給前志音はちゃんと理解していた。②自分の生き方まで、「それっぽく」なることはない。

そんな自分に手を差し出す人がいた。

「変えたって、思ったんだろ？ 今」

この人には、人の心が読めるのだろうか。それとも、自分はそんなにわかりやすい性格をしているのだろうか。差し出された大志の手を、志音は見下ろした。③この手に応えてしまったら、もう戻ることはゆるぎない気がする。自分の掌を見つめて、志音は思った。まだ汗ばんでいる掌。震

えている。大志と演奏した何とも言えない興奮と、緊張と、恐怖と。初めて誰かと音を交えた感覚がまだ掌で震えている。自分の知らないところから、知らない感情が湧き上がってくる。

「お前さんはきつと、自分が思っているよりずっとずつといるんなことができるよ。(d) 案外、そういうのは自分じゃ気づけないものなんだよ」だから、俺の言葉をちよつと信じてみてよ。

そう笑う彼の顔を見ていたら、自分の口から **B** と、言葉がこぼれ落ちていた。

「変わるかも、 shouldn't」

(e) 先程の演奏が 蘇る。あの狭い四畳半の部屋で、一人きりでやっていた頃とは違う。輝いた音だった。何もかも上手く行くように思った。何でも手に入る、何でもできる。世界はあのととき、全て志音の手の中にあつた。もう一度あそこへ行けるなら、もしかしたら自分は、今までの自分できなかつたことができるかもしれない。

この気持ちを自分は忘れられるのだろうか。忘れられないのなら、深く深く、体の至るところにあの興奮と期待を記憶したまま、今までのように生きていけるのだろうか。

「変わるかもしれない」

声が震えた。喉が痙攣でも起こしたように、 **C** と跳ねる。 **④** 頬を伝っていく涙を認識した瞬間、志音は大志へ手を伸ばしていた。彼の手を握る。

**⑤** 強く強く、強く。

突然の志音の涙に驚いた顔をした大志も、優しく志音の手を握り返してくれた。

「吹奏楽部、入ってもいいですか」

おれにもやれること、ありますか。 **⑥** か細い声でそう言うと、大志は大きく息を吸って言った。

「吹奏楽部によろこそ、給前志音」

そしておもむろにこう続けた。

「一緒に、東日本大会に行こう」

\*

「あんた、こんなところでなにやってんの」

帰ってきたら家中まっ暗だし、カーテンも閉めてないし。そう言いながら、母は蛍光灯の紐を引いた。白い光に、真っ赤なドラムセットが光る。冬物の服やこたつ布団がしまわれている狭い和室で、志音は学校から帰ってきてからずっと、ドラムセットの椅子に腰掛けていた。

バスドラムの側面に手を触れた。自分の顔が映り込む。自分と目が合う。

「お母さん」

「なあに」

母は志音が言葉を発するのを待つように壁に寄りかかっていた。

「おれ、部活やりたい」

「部活う？」

母の声が高くなる。

「あんたが？ 何やんのさ」

⑦ 母の目を見据えて、志音は胸を張った。

「吹奏楽部。おれ、ドラムやる」

暗闇の中でずっと、母はどんな顔をするだろうと考えていた。怒るだろうか、呆れるだろうか、悲しむだろうか。

けれど母は柔らかく笑みを浮かべて、志音に「どうして」と問いかけた。

「吹奏楽部に入ってほしいって、言ってくれた人がいた。おれも、入りたいって言った」

何もできないと思っていた。何もできないくせに。人付き合いも苦手なくせに。自分に自信もないくせに。でも、本当はもつと——上手に生きてい。そんなの、どうしようもないんだと思っていた。

「だから、お父さんのドラム、おれに下さい」

母に向かって大きく頭を下げる。母は何と言うだろう。拳を握りしめて、志音は待った。聞こえてきたのは、母の笑い声だった。少しずつ大きくなっていた。

「何があったか知らないけど、いいよ。やりなよ」



志音の頭を **D** と撫なでながら、母はうんうんと頷うなく。

「そーい、年明けくらいからずつと練習してたもんね」

ちよつとは上手になったの？ 母はそう首を傾かしげ傾かしげる。

「わかんないけど。今日、初めて人と一緒に演奏したの」

頑張りなよ。やるからには。そう言う母の手の温ぬくもりを脳天のうてんに感じながら、志音は大きく頷うないた。

(額賀濤「屋上のウインドノーツ」より)

※出題の都合上、一部表記を改めた箇所があります。

問1 線(a)と(e)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問2 **A**と**D**に当てはまる言葉として適切なものを、次のアとオの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア ヒクツ      イ がしがし      ウ ズシン      エ ぼろり      オ ぐったり

問3 線①「行方一高の入学試験を受けると決めた頃」とありますが、志音が受験を決意した理由を説明した次の文章の**I**と**III**にあてはまる語句を本文中から抜き出しなさい。

●学校が **I (五字)** だけではなく、瑠璃ちゃんと一緒にいるのが苦しくなった。そうなってしまった理由は **II (五字)** が、このままで  
は自分が、 **III (五字)** になると思ったから。

問4 線②「自分の生き方まで、『それっぽく』なることはない」の「それっぽく」とはどのような意味ですか。説明しなさい。

問5 ———線③「この手に応えてしまったら、もう戻ることはゆるされない気がする」とありますが、大志と出会う前と後で、志音の自分に対する認識はどのように変化しましたか。出会う前は六字、出会った後は二十五字で本文中から抜き出しなさい。

問6 ———線④「頬を伝っていく涙を認識した瞬間、志音は大志へ手を伸ばしていた」とありますが、志音が涙を流した理由を説明しなさい。

問7 ———線⑤「強く強く、強く」に使われている表現技法を、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 倒置法   イ 対句法   ウ 反復法   エ 擬人法

問8 ———線⑥「か細い」の文章中での意味を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 薄っぺらい   イ スリムな   ウ はきはきした   エ 弱々しい

問9 ———線⑦「母の目を見据えて、志音は胸を張った」とありますが、ここでの志音の心境としてふさわしいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 吹奏楽部に入部して、自分を変えたいという固い決意。

イ 吹奏楽部への入部を母が反対するはずがないという過剰な自信。

ウ なにがなんでも父の遺品のドラムを母から奪いたいという強い欲求。

エ 入部を認めてもらうために強気な自分を演じることへの後悔。

問10 次のア～ウのうち、本文の内容と合うものには○、合わないものには×を答えなさい。

ア 大志と出会う前から、志音は吹奏楽部に入部することを決めていた。

イ 志音はドラム奏者である父のようになりたいと思い、ドラムを始めた。

ウ 志音と大志が一緒に演奏をした時、志音は恐怖と興奮で手が震えてしまった。



帝京八王子中学校

平成30年度 入学試験問題

解答用紙 (第三回A)

国語

受験番号

氏名

模範解答

問9	問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1
2点	4点	各1点	各3点	4点	各2点	3点	2点	各2点
C	感じ きり 自分 とは 違 う そ の 人 を 、 も っ と 身 近 に	i B ii A iii A iv B v B vi A	(1) イ (2) ア (3) ウ (4) ア (5) イ	先生は尊敬されるべき立場の人間であり、尊敬する側の人からは離れたところにいるから。	② イ ⑤ 工	心理的 な 距 離	ア	(a) 相談 (b) 実 際 (c) 逆 (d) 許 せる (e) 最 悪

問10	問9	問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1
各1点	2点	2点	2点	4点	3点	3点	4点	各3点	各2点
ア	ア	エ	ウ	前に進めない自分が、そんな自分を変えることができるかもしれないと気付いたから。	後 きる か も し れ な い	前 何も で き な い	I 辛 く な っ た	A ウ	(a) なか ば (b) か ろ や か (c) ぶ か っ こ う (d) あ ん が い (e) さ き ほ ど
イ	X						II わ か ら な い	B エ	
ウ	X						III 薄 情 な 人 間	C ア	
	○						別解「前に進めない」	D イ	

点

平成30年度 入学試験問題 (第3回A)

# 算 数

## 注 意 事 項

1. 試験時間は50分間です。
2. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

1 次の  にあてはまる数を入れなさい。

$$(1) \{(48 - 32) \times 4 + 6\} \div 2 - (28 - 13) = \text{}$$

$$(2) 13.6 \times 4.8 - (5.68 - 3.6) \div 0.2 = \text{}$$

$$(3) 100 - 6 \times \text{} + 48 \div 6 = 30$$

$$(4) 1 \div \left\{ 10 - 2 \frac{4}{5} \div \left( \frac{3}{5} - \frac{1}{4} \right) \right\} = \text{}$$

<計算らん>

2 次の  にあてはまる数を入れなさい。

- (1) 定価が 2500 円のある品物を  %引きで買うと 1200 円になります。
- (2) 縮尺 25000 分の 1 の地図上で、12 cm の距離は実際には、 m になります。
- (3) おかしを何人かの子供に分けると、4 個ずつ配ると 28 個あまり、6 個ずつ配ると 8 個不足します。このとき、子供の人数は  人になります。
- (4) ある年の 11 月 22 日は水曜日です。この年の 4 月 17 日は  曜日になります。
- (5) 8 で割ると 3 余り、5 で割ると 2 余る数のうち、最も大きい 3 けたの数は  になります。
- (6) 半径 6 cm で中心角が 30 度のおうぎ形があります。このおうぎ形は半径 3 cm 、中心角  度のおうぎ形と面積が同じになります。

<計算らん>

3 AさんとBさんは一定の歩幅と速さで歩きます。ある距離をAさんは20歩、Bさんは15歩で進み、ある時間でAさんは55歩、Bさんは50歩進みます。このとき、次の問いに答えなさい。

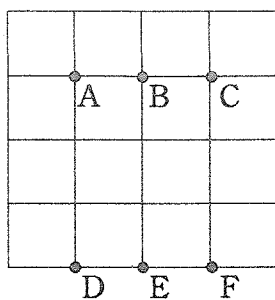
(1) AさんとBさんの歩幅の比を最も簡単な整数比で答えなさい。

(2) AさんとBさんの速さの比を最も簡単な整数比で答えなさい。

<計算らん>



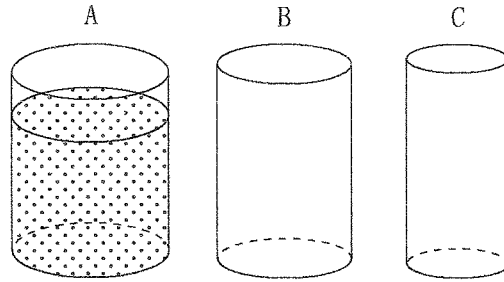
- 4 下の図のように方眼紙に点A、B、C、D、E、Fがあります。この6点から3点を選んで三角形を作ります。次の問いに答えなさい。



- (1) 二等辺三角形は何個できますか。
- (2) 直角三角形は何個できますか。
- (3) 三角形は何個できますか。

<計算らん>

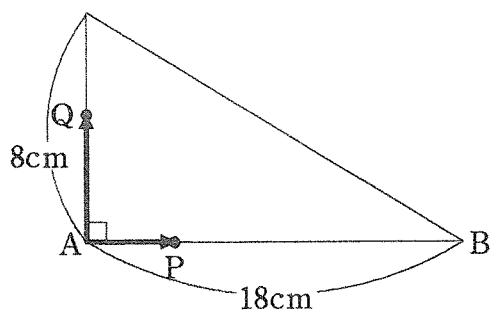
- 5 右の図のような円柱の形をした容器A、B、Cがあります。3つの容器の深さはすべて120 cmで、底面の円の面積は、BがAの $\frac{4}{5}$ 倍、CがBの $\frac{3}{4}$ 倍です。Aの容器には84 cmの深さまで水が入っていて、BとCは空になっています。次の問いに答えなさい。



- (1) Aに入っているすべての水をBに移すと、水の深さは何cmになりますか。
- (2) Aに入っているすべての水をBとCに同じ量ずつ分けて入れると、BとCの水の深さの差は何cmになりますか。
- (3) Aに入っているすべての水をBとCに分けて入れ、BとCの水の深さが同じになるようにすると、水の深さは何cmになりますか。

<計算らん>

- 6 図のような直角三角形があります。2点P、Qは直角三角形の辺上を動く点で出発点とともに点Aです。点Pは毎秒2cmの速さで、点Qは毎秒1cmの速さでそれぞれ矢印の方向に進みます。点Pが点Bの位置まで動くとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 2点PとQが動き始めてから4秒後における三角形APQの面積は何 $\text{cm}^2$ ですか。
- (2) 線分PQがこの直角三角形の面積を2等分するのは、2点PとQが動き始めてから何秒後ですか。

<計算らん>

# 帝京八王子中学校

平成30年度入学試験問題  
解答用紙 (第3回A)

## 算数

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1	(1)		(2)		(3)		(4)	
---	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

2	(1)		%	(2)		m	(3)		人	(4)		曜日
	(5)			(6)		度						

3	(1)		:	(2)		:
---	-----	--	---	-----	--	---

4	(1)		個	(2)		個	(3)		個
---	-----	--	---	-----	--	---	-----	--	---

5	(1)		cm	(2)		cm	(3)		cm
---	-----	--	----	-----	--	----	-----	--	----

6	(1)		cm <sup>2</sup>	(2)		秒後
---	-----	--	-----------------	-----	--	----

得点	
点	
	点

# 帝京八王子中学校

平成30年度入学試験問題  
解答用紙 (第3回A)

## 算数

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1	(1)	20	(2)	54.88	(3)	13	(4)	$\frac{1}{2}$
---	-----	----	-----	-------	-----	----	-----	---------------

2	(1)	52 %	(2)	3000 m	(3)	18 人	(4)	月 曜日
	(5)	987	(6)	120 度				

3	(1)	3 : 4	(2)	33 : 40
---	-----	-------	-----	---------

4	(1)	2 個	(2)	12 個	(3)	18 個
---	-----	-----	-----	------	-----	------

5	(1)	105 cm	(2)	17.5 cm	(3)	60 cm
---	-----	--------	-----	---------	-----	-------

6	(1)	16 cm <sup>2</sup>	(2)	6 秒後
---	-----	--------------------	-----	------

配点  
各5点

得点	
点	点